

移動市長室

はらっぱの会

本^{ほん}でつながる居場所^{いばしょ}づくりをめざして



通算90回目となる移動市長室を5月23日(木)に筑紫南コミュニティセンター会議室において開催し、はらっぱの会の会員16人と懇談を行いました。



はらっぱの会は、市の委託で筑紫南コミュニティセンターの図書室を運営するほか、絵本の読み聞かせなどの活動をするボランティア団体です。平成30年度には「福岡県青少年健全育成対策推進本部顕彰」と「福岡県教育文化表彰」を受けるなど、その活動の功績が広く認められました。

平成24年4月以来2度目となる今回の懇談では、多岐にわたる活動の紹介や意見交換、おはなし会の見学などを行いました。

地域に根ざした図書室を

平成20年に市の委託を受けてはらっぱの会が発足し、以来、試行錯誤を重ねながら図書室の運営、読書活動の推進に取り組んで来ました。その結果、委託が始まった当初から、利用者数・貸出冊数ともに約2〜3倍と大きく伸び、筑紫南コミュニティセンター図書

室は地域の人々の居場所として定着しました。

子どもが気軽に遊びに来れる和気あいあいとした雰囲気の特徴で、この図書室を訪れる乳幼児から高齢者までの本を通したコミュニケーションのお手伝いができるよう意識しています。

本の魅力を伝えるために

図書室運営のほかに、月3回のおはなし会や、おりがみ教室の開催、会員手作りの布絵本の展示など、本に興味を持ってもらうさまざまな取り組みをしています。絵本作家を招いて、絵本の大切さや作家の思いを伝えていただく講演会も好評です。また、活動は図書室だけに留まらず、近隣の公民館などへ出張おはなし会に行くこともあります。



おはなし会を視察する藤田市長

地域の一員として

地域の人々が集う場であることを生かし、地域交流や子育て支援に関する活動も行っています。平成24年から、男性の子育て参加のきっかけづくりを目指して、イクジイ・イクメンのおはなし会を始めました。また、筑紫南コミュニティ運営協議会の次世代育成委員会に所属しており、昨年度は地域と連携して人形劇や春の子ども祭りに参加しました。会員にとっても、子どもたちと関わることで活動の意欲を上げることがつながっています。

一人ひとりが輝く会に

会員にはさまざまな資格や経歴を持った人がおり、会の多様な活動は会員に支えられて成り立っています。これからも「やれる人が、やれるときに、やれることをやる」をモットーに、会員一人ひとりがいきいきと活動できる会でありたいと思います。今回の移動

市長室では、今までの活動を振り返り、自分たちの原点を見つめ直すことができました。

盛んな意見交換を行い、交流を深めることができました。いただいた貴重なご意見は、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

・真剣に話を聞いていただいて、市長が私たちの活動を後押ししていただいていると感じて、心強く思いました。
・今までの地道な活動を市長に詳しく知っていただけたことが嬉しかったです。楽しく、素晴らしい会にできたのではないかと思います。

藤田市長の一言



皆さん方のそれぞれの立場、経験からくる、はらっぱの会の思い出や、活動の内容をつぶさに分かりやすくお話をしていただきまししたこと、今後の市政運営に大いに役に立たせていただき、いい移動市長室に巡り合ったと、感謝するところでございます。

お話を聞く中で強く感じましたことの一つに、皆さんは、このはらっぱの会で自分づくりをしてある、人づくりをしてある、そして生きがいづくりをしてある。

代表を中心に、この素晴らしい結束力と豊かな人間愛でコミュニケーションを引っ張って、子育て、地域づくり、まちづくりに貢献をいただければ、市長として、この上のない喜びであります。

本当にありがとうございました。

